

良心学研究センター ・ 赤ちゃん学研究センター

～合同シンポジウム～

# 『子育て観の変遷と良心』

## —近代から現代まで—

2021年11月30日(火) 16:40-18:40

同志社大学は創設者・新島襄の時代から人の「良心」を重んじています。

しかし時代によって、地域によって、集団によって、良心はすこしずつその形を違えているように感じられます。おそらくそれは人が赤ちゃんから大人に向かって育っていく中で、良心もまた育っていくからではないでしょうか。良心もまた、体の発達、心の発達、そして周りからの影響を受けて徐々に形作られるのではないか、そのような着眼点による発達と良心に関するシンポジウムを2017年より同志社大学の2つの研究センターが合同で開催しています。

良心学研究センターは同志社大学の尊い思想をそのまま体現した研究センターです。

赤ちゃん学研究センターは「はじまりは赤ちゃんから」をキーワードに様々な分野の研究者が集う研究センターです。

今回のテーマは「子育て観」です。2つの異なる視点から探る「子育て観の変遷と良心」をどうぞお楽しみ下さい。

### プログラム

16:40～ 司会者趣旨説明 加藤正晴(同志社大学)

16:45～ 「日本の子育ての展望を探る—日本の子育て文化と子育て観の変遷を基に—」

講師 吉岡真知子先生(東大阪大学 学長)

17:15～ 「江戸の子育て論—貝原益軒の『和俗童子訓』を読む」

講師 沖田行司先生(びわこ学院大学 学長)

17:45～ コメンテーター 小原克博(同志社大学)・板倉昭二(同志社大学)からのコメント

18:05～ 講師とコメンテーターのパネルディスカッション

18:25～ フロアとの質疑応答

## 講演者プロフィール

# 吉岡 真知子(よしおか まちこ)

東大阪大学こども学部 教授  
東大阪大学・東大阪大学短期大学部 学長  
東大阪大学こども研究センター長



1950年 奈良県生まれ。奈良女子大学大学院人間文化研究科社会生活環境学専攻 博士後期課程単位取得退学。1973年～1998年奈良県公立小学校教員を経て、1998年東大阪短期大学幼児教育学科、2003年東大阪大学こども学部。本村上学園では1999年、4年制大学設立のための準備が始まり、「こども学部」の設置を提案、3年間「こども学」の学部構想を練り、文部科学省に設置申請する。2003年全国初(学部名称)の4年制大学「東大阪大学こども学部」を開設。同時に「子ども研究センター」を設置。

幼少期の自身の生い立ちから「子ども理解」をテーマに考えるようになり、小学校教員経験から、子ども、保護者、地域を視野に臨床研究をし、新しい学部名称と学問体系の構想につなぐ。

現在、保育園、幼稚園の現場、本学こども研究センター、子育て相談、学生(若者)を研究フィールドに臨床研究を行い「子ども理解、人間理解」を問い続けている。

所属学会：日本臨床教育学会 日本保育学会 日本教育学会 日本保育者養成学会  
武庫川臨床教育学会

### その他の現職

学校法人村上学園 理事 評議員  
大阪市特別参与(就学前教育)  
生駒市、橿原市、葛城市 子ども子育て会議会長(2013年～2019)  
生駒市、東大阪市子ども子育て会議委員  
日本臨床教育学会事務局 武庫川臨床教育学会理事  
聖和福祉会(聖和乳幼児保育センター)評議員 みのり保育園評議員

### 著作等

「保育者のための自己評価チェックリスト」萌文書林  
「教育・保育カリキュラム論」中央法規 「大阪市就学前教育カリキュラム」大阪市  
「門真市就学前教育・保育カリキュラム」門真市教育委員会  
「奈良県就学前教育研究調査事業報告書」京都大学地域連携教育推進研究ユニット  
「子育ての意味を考えるー子育てを通して親も子も育ちあおうー」講演記録 富山短期大学  
「教員養成とこども学」ASIAー社会・経済・文化ー 「こども学序説」ナカニシヤ出版

## 講演者プロフィール

# 沖田 行司(おきた ゆくじ)

びわこ学院大学 学長  
同志社大学名誉教授



1948年 京都府生まれ。

同志社大学大学院文学研究科博士後期課程文化史学専攻を経て1979年同志社大学文学部助手に奉職。専任講師・助教授を経て1990年に教授。その間、ハワイ大学客員教授・中国人民大学特別客座教授を経て、2019年3月同志社大学定年退職(勤続40年)、2020年4月

びわこ学院大学の学長に

就任。

主要著書:2000年以降

- 『日本人をつくった教育』(2000)
- 『新訂版 日本近代教育の思想史研究』(2007)
- ・『藩校・私塾の思想と教育』(2011)
- ・『人物で見る日本の教育』(2015)
- ・『日本国民をつくった教育』(2017)
- ・『新編 同志社の思想家たち』上(2018)
- ・『新編 同志社の思想家たち』下(2019)
- ・『横井小楠一道は用につくも是ならず』(2021)

その他



## 小原 克博(こはら かつひろ)

同志社大学 神学部 教授  
良心学研究センター センター長

1965年、大阪生まれ。1989-91年、マインツ大学、ハイデルベルク大学(ドイツ)に留学。1996年、同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士(神学)。

現在、同志社大学神学部教授、良心学研究センター センター長。日本宗教学会 理事、日本基督教学会 理事、宗教倫理学会 評議員、日本学術振興会 学術システム研究センター プログラムオフィサー(専門研究員)も務める。一神教学際研究センター長(2010-2015年)、京都・宗教系大学院連合 議長(2013-2015年)、京都民医連中央病院 倫理委員会 委員長(2003-09年、2010-18年)、宗教倫理学会 会長(2016-18年)等を歴任。

専門はキリスト教思想、宗教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組む。

### 単著として

『ビジネス教養として知っておきたい 世界を読み解く「宗教」入門』(日本実業出版社、2018年)

『一神教とは何か——キリスト教、ユダヤ教、イスラームを知るために』(平凡社新書、2018年)

『宗教のポリティクス——日本社会と一神教世界の邂逅』(晃洋書房、2010年)

『神のドラマトゥルギー——自然・宗教・歴史・身体を舞台として』(教文館、2002年)

### 共著(編著)として

山極寿一・小原克博『人類の起源、宗教の誕生——ホモ・サピエンスの「信じる心」が生まれたとき』(平凡社新書、2019年)

堀江宗正編『宗教と社会の戦後史』(東京大学出版会、2019年)

同志社大学 良心学研究センター編『良心学入門』(岩波書店、2018年)

小原克博・勝又悦子編『宗教と対話——多文化共生社会の中で』(教文館、2017年)

新教出版社編集部編『原発とキリスト教——私たちはこう考える』(新教出版社、2011年)

小原克博・中田考・手島勲矢『原理主義から世界の動きが見える——キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』(PHP 研究所、2006年)

芦名定道・小原克博『キリスト教と現代——終末思想の歴史的展開』(世界思想社、2001年)

HP: <http://www.kohara.ac>



## コメンテータープロフィール

# 板倉 昭二 (いたくら しょうじ)

同志社大学赤ちゃん学研究センター センター長  
専任フェロー(教授)



1959年、大分県生まれ。

専門は発達科学、進化発達心理学、Developmental Cybernetics。

1989年、京都大学大学院理学研究科霊長類学専攻修了。京都大学理学博士。1989年～1991年、日本学術振興会特別研究員

(PD)。この間、米国ニュージャージー医科歯科大学ロバートウッドジョンソン校児童発達研究所留学後、大分県立芸術文化短期大学、米国エモリー大学ヤーキース霊長類センター研究員、大分県立看護科学大学を経て、2000年より、京都大学大学院文学研究科助教授、2006年より同准教授、2010年、同教授となる。2019年3月、京都大学を早期退職し、同志社大学赤ちゃん学研究センター 副センター長／専任フェロー(教授)となる。2019年9月、センター長に就任。

これまで学んできたことを活かして、3つの視点、1) 個体発生的視点、2) 系統発生的視点、3) ロボティクス・AI・VR 的視点から、赤ちゃん学の発展のために貢献したいと思っています。スポーツが好きで(もっぱら観戦ですが、なかなか時間が取れません)、NY・Mets(野球)、NY・Jets(アメフト)、NY(Brooklyn)・Nets(バスケット)の大ファンです。あとは、落語、70年代のフォークソングなどが好きですねえ。

### その他の現職

京都大学名誉教授 日本赤ちゃん学会理事長

浙江師範大学(中国)、浙江理工大学(中国)、ミラノカトリック大学(イタリア)客員教授

### 主な著書

『自己の起源』(金子書房)

『わたしはいつ生まれるか』(ちくま新書)

『心を発見する心の発達』(京都大学学術出版会)

”Diversity of cognition”, Kyoto University Press.

”Origins of the social mind: Evolutionary and developmental view”, Springer.

『ロボットを通して探る子どもの心: ディベロップメンタル・サイバネティクスの挑戦』(ミネルヴァ書房)

『発達科学の最前線』(ミネルヴァ書房)

『高校生のための心理学講座』(誠信書房)

## 司会者プロフィール

### 加藤 正晴 (かとう まさはる)

同志社大学赤ちゃん学研究センター 特定任用研究員 (准教授)

2002年東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。  
東京女子医科大学助手、スウェーデンウプサラ大学心理学部リサーチアソシエイト、同志社大学心理学部准教授、NTTコミュニケーション科学基礎研究所リサーチスペシャリスト、等を経て2015年4月より現職。



もともとソフトウェアとしての人に興味があり、研究の最初は人工知能や生化学。一時期生態学にかぶれ、個体レベルでの理解が最も重要だと思いこんだ結果、その後は個体の行動レベルの描写が主体の心理学が興味を中心になる。

専門は感覚・知覚の発達、感覚統合、顔認知。

個体間のインタラクションにも興味があります。

自閉スペクトラム症についての研究もまさにこの延長線上にあります。

#### その他の資格・現職

臨床発達心理士

木津川市子ども・子育て会議委員

日本赤ちゃん学会理事

日本発達神経科学会評議員

#### 著書など

加藤正晴・嶋田容子・木谷俊介『学童期における日本語を用いた選択的聴取能力—選択的聴取の児童向けアセスメントツール開発—』(日本音響学会誌, 77(8), 500-503, 2021)

『発達科学から見た多感覚統合の世界』(日本音響学会誌, 77(3), 215-222, 2021)

『今なぜ発達行動学なのか』(共著、診断と治療社、2013年)

『発達科学入門2』(章執筆、東京大学出版会、2012年)

『赤ちゃん学を学ぶ人のために』(章執筆、世界思想社、2012年)

近日開催予定の良心学研究センター・赤ちゃん学研究センターの活動

CONSCIENCE

## 良心学研究センター

<http://ryoshin.doshisha.ac.jp/jp/>

### 公開シンポジウム 「サイエンス、キリスト教、そして良心」

日時 : 2021年12月04日(土) 10:00-12:00

場所 : Zoomによるオンライン開催(事前申し込みが必要)

お申し込みの詳細は、良心学研究センターのHPをご覧ください。

講師 : 有賀誠一(カナダ合同教会 引退牧師)

コメンテーター : 林田 明(理工学部 教授)、小原克博(神学部 教授)

※参加費無料

### 公開シンポジウム 「ビジネスと良心—良心の経営学を模索する」

日時 : 2022年1月17日(月) 16:40-18:40

場所 : 同志社大学 今出川キャンパス 同志社礼拝堂

講師 : 北 寿郎(ビジネス研究科教授)

山下貴子(ビジネス研究科教授)

司会 : 小原克博(神学部 教授、良心学研究センター長)

コメンテーター : 八木 匡(経済学部教授)

西口泰夫(山田コンサルティンググループ株式会社 取締役会長、  
元・京セラ代表取締役会長兼 CEO)

※入場無料、事前申し込み不要



## 赤ちゃん学研究センター

<https://akachan.doshisha.ac.jp/>

第10回赤ちゃん学コロキウム

### 「赤ちゃんの目からみる～シリーズ③～」

今年度は、「赤ちゃんの目からみる」に焦点を当て、その分野や活躍する研究者をお招きし、それぞれの研究をベースに赤ちゃん研究の手法について議論します。

日時 : 2022年2月頃予定

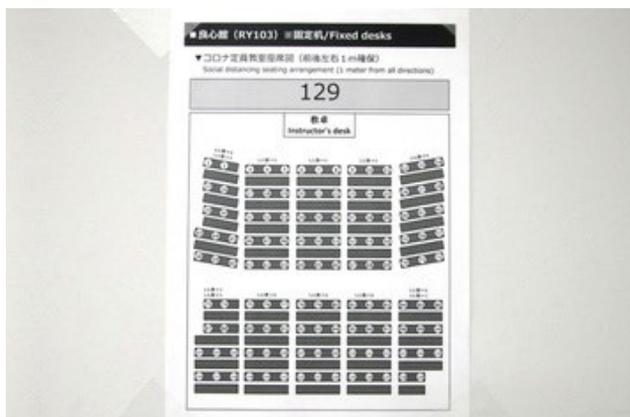
場所 : Zoomによるオンライン開催(事前申し込みが必要)

講師 : 現在、調整中

※詳細が決まり次第、HPやTwitterでお知らせします。

※参加費無料

# 本学の新型コロナウイルス感染症対策



各教室、前後左右1mずつ間隔を空けて、着席可能な座席を設定しています。



着席が可能な座席にはシールを貼り付けています。



授業で使用する各教室、体育施設には利用運用基準を定め、基準に則り授業を行っています。



授業時間中、常時または一定の時間間隔で教室の扉や窓の開放、換気装置の作動を行うことにより、教室内の換気に努めています。



キャンパス内各施設の入口には消毒液を設置しています。



各施設では、最低一日一回、ドアノブ・什器等の拭き掃除を行っています。

合同シンポジウム終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染が判明した参加者さまは ☎ 0774-65-7496 (同志社大学 赤ちゃん学研究センター) までご連絡ください。